



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R5 CS通信No.9 R5.9.8



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

学校運営協議会委員学校訪問(西海小)



町の学校運営協議会では、授業参観における児童生徒の観察や学校の説明から、教育活動に対する理解を深めるため、学校訪問を実施しています。

9月5日(火)の西海小学校訪問には、鎌田会長、花田副会長、渋谷委員の3名が参加しました。

西海小学校では、「自己肯定感を育てること」を今年度の重点目標に掲げていて、アンケートでは、「自分にはよいところがある」と答える子どもが去年より多くなっているということでした。

授業参観では、全学級で落ち着いて静かに授業している様子を見ることができました。

今回の学校訪問では、給食の試食もあり、学校運営協議会の皆さんは、各教室に入り、給食の様子も参観できました。委員の皆さんからは、

「教室に入って一緒に給食を試食できたことで、学校の様子がよりよく分かった。」

と、感想がありました。

りんご園で体験学習(舞戸小第3学年)



舞戸小学校第3学年では、地域のりんご農家の仕事を見学したり、体験したりすることで生産に携わっている人々の仕事の苦労や工夫を理解することを目的にふるさと学習を実施しました。

場所は、農薬や化学肥料を使わない方法でりんごを育てている「若葉農園」です。

子どもたちは、りんご園を見学しながら、りんごづくりの仕事についてのお話を聞いたり、収穫体験やふくろはぎなどを体験したりしました。

今回のふるさと学習には、学級担任や支援員の他に学校支援ボランティアの方が2名協力し、子どもたちの活動支援を行いました。

学習終了後、子どもたちは、収穫したりんごをおみやげにもらって笑顔で帰っていきました。

西北緑の少年団交流会(舞戸小、西海小)



鯨ヶ沢町教育委員会が推進するふるさと学習の一つで、自然環境を学ぶ緑の少年団交流会が、このほど長平青少年旅行村で開催されました。

西北地区の小学生が一堂に会し、鯨ヶ沢町からは、西海小3・4年生児童と舞戸小4年生児童が参加しました。

木工教室では木製の竹馬「木馬制作」、森林体験では、「森の動物たち」「樹木当て」「木のボーリング」「丸太切り」の各ミッションに他の学校の子たちと協力しながら挑戦し、日常の学校生活ではできない体験をすることができました。

この交流会は、西北地域県民局地域農林水産部や町役場農林水産課の協力を得て行いました。

子どもたちは、「自然のことをいろいろ勉強できて楽しかった。また皆と一緒に勉強したい。」と、元気に話していました。